

藤沢市個人情報保護制度運営審議会答申第666号

2014年（平成26年）6月12日

藤沢市長 鈴木 恒夫 様

藤沢市個人情報保護制度  
運営審議会会長 畠山 関之

市立保育所の運営管理に係る個人情報を目的外に提供すること及び目的外に提供することに伴う本人通知の省略について  
(答申)

2014年（平成26年）5月26日付けで諮問（第666号）された市立保育所の運営管理に係る個人情報を目的外に提供すること及び目的外に提供することに伴う本人通知の省略について次のとおり答申します。

1 審議会の結論

- (1) 藤沢市個人情報の保護に関する条例（平成15年藤沢市条例第7号。以下「条例」という。）第12条第2項第4号の規定による目的外に提供する必要性は、「3 審議会の判断理由」の(1)に述べるところにより認められる。
- (2) 条例第12条第5項の規定による目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由は、「3 審議会の判断理由」の(2)に述べるところにより認められる。

2 実施機関の説明要旨

実施機関の説明を総合すると、本事務の実施に当たり個人情報を目的外に提供する必要性及び目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由は次のとおりである。

(1) 諮問に至った経過

本市では、保育園において園児の安全確保と犯罪の未然防止のため、平成18年度から3カ年で公立保育園16園に防犯カメラを設置しており、藤沢市個人情報の保護に関する条例第10条本人以外のものからの収集の制限及び第18条コンピュータ処理の制限については、既に2006年7月13日付答申第195号により個人情報保護制度運営審議会の承認を得ている。

また、2009年1月に藤沢保育園駐車場で発生した車上荒らしを契機に、保育園敷地内で発生した殺人、傷害、暴行、誘拐、窃盗、器物損壊及び放火の捜査に関して、司法警察職員等より刑事訴訟法第197条第2項に基づく捜査関係事項照会書により防犯カメラ画像データの目的外提供を依頼された場合は、目的外提供を受けようとする者にとって当該求められた方法以外に情報を入手する手段がないと

管理責任者が判断したときに限り、目的外提供をすることができることを規定した「藤沢市立保育所の防犯カメラ画像データについて、捜査機関から刑事訴訟法第197条第2項に基づく照会を受けた場合の取扱いに関するガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）について、2009年3月12日付答申第382号により個人情報保護制度運営審議会の承認を得ている。

本年4月19日午後1時から午後5時の間に、本市大庭地区内において、窃盗被疑事件が発生し、その捜査を行う神奈川県茅ヶ崎警察署司法警察員から、刑事訴訟法第197条第2項に基づく捜査関係事項照会書（以下「捜査関係事項照会書」という。）により、防犯カメラの画像の提供を求められた。しかしながら本件は、ガイドラインにより目的外提供することができる事例に該当しないため、神奈川県茅ヶ崎警察署司法警察員に防犯カメラ画像データを目的外提供をすることについて、藤沢市個人情報の保護に関する条例第12条の規定に基づき藤沢市個人情報保護制度運営審議会に諮問するものである。

(2) 防犯カメラ画像を目的外に提供することについて

ア 目的外に提供する個人情報

小糸保育園北側出入り口に設置された防犯カメラで、2014年4月19日午後1時から午後5時までの間に記録された画像

イ 引き渡し方法

ハードディスクに記録された画像をビデオテープ（VHS）にダビングして引き渡し

ウ 目的外に提供する相手方

神奈川県茅ヶ崎警察署司法警察員

エ 目的外提供の根拠規定

刑事訴訟法第197条第2項

オ 目的外提供に対する実施機関の考え

(ア) 本件の捜査関係事項照会は、刑事訴訟法第197条第2項に基づくものである。

刑事訴訟法第197条第2項は「捜査については、公務所又は公私の団体に照会して必要な事項の報告を求めることができる。」としており、官庁・公共団体その他のものに対する照会による報告の請求権を認めたものであるが、官庁・公共団体等がその照会に応じなければならぬ拘束力はない。

しかし、本件照会は窃盗被疑事件に関するものであり、再発の防止等迅速な対応が必要であるため、目的外提供を行うものである。

(イ) 目的外に提供する必要性

本件は、小糸保育園の近隣で発生しているものだが、このまま解決しないと引き続き事件が発生するおそれがある。

また、近隣には他に防犯カメラの設置施設がないため、本件の解決には小糸保育園に設置された防犯カメラの画像データの提供が大きな意味を持つものと考えられる。

さらに本件は保育園の近隣で発生したものであり、早期の事件解決は、より良い保育環境と安全確保を図るという本市の利益と合致すると考えられる。これらのことから、捜査関係事項照会書による目的外提供に応じる必要があるものと判断する。

(3) 目的外に提供することに伴う本人通知の省略について

目的外に提供する個人情報とは防犯カメラ画像データであり、当該画像データには保育園関係者及び園児とその保護者の他、不特定多数のもの画像が記録されている。当該画像データで確認できる個人を全て特定することは困難であり、目的を達成する上で著しい支障があるので本人への通知は省略する。ただし、保育園関係者及び園児とその保護者については、事前又は事後に周知を行うこととする。

(4) 実施時期

2014年6月12日実施予定

(5) 提出資料

ア 捜査関係事項照会書

イ 藤沢市立保育所防犯カメラ運用基準

ウ 公立保育園の防犯カメラによる画像データについて、捜査関係機関から刑事訴訟法第197条第2項に基づく照会を受けた場合の取扱いに関するガイドライン

エ 個人情報取扱事務届出書

3 審議会の判断理由

当審議会は、次に述べる理由により、審議会の結論(1)及び(2)のとおり判断をするものである。

(1) 目的外に提供する必要性について

本件照会は、正当な請求権を有した神奈川県茅ヶ崎警察署司法警察員によって行われるものであり、本年4月19日午後1時から午後5時の間に、本市大庭地区内において発生した窃盗被疑事件に関するものである。

また、実施機関では、小糸保育園附近には当該防犯カメラ以外に防犯カメラの設置施設はなく、本件の目的外提供する個人情報は、当該防犯カメラ画像データでしか情報を得られないものであり、捜査に必要であることを確認している。

以上のことから判断すると、目的外に提供する必要性があると認められる。

ただし、捜査機関に提供する際は、実施機関の管理下でビデオテープを閲覧させ、提供する部分は必要最小限とすること。

(2) 目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由について

個人情報を目的外に提供する場合、当該個人情報の帰属者に対してあらかじめその旨を通知すべき義務が実施機関に存している。

実施機関の説明によると、目的外に提供する個人情報は防犯カメ

ラ画像データであり、当該画像データには保育園関係者及び園児とその保護者の他、不特定多数のもの画像が記録されており、当該画像データで確認できる個人を全て特定することは困難であるとのことである。また、個人が特定できる場合であっても、本人通知をした場合には、当該捜査の目的を達成する上で、著しい支障が生じることを捜査機関に確認している。さらに、保育園関係者及び園児とその保護者については、事前又は事後に周知を行うとしている。

以上のことから判断すると、目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由があると認められる。

ただし、本案件の撮影範囲には、保育園近隣の道路が含まれるため、近隣市民に対しても保育園関係者及び園児とその保護者と同様に周知を行うこと。

以 上